

教科名〔 保健体育 〕

科目名	単位数	学年・組	担当者名
保健	1単位	1学年 1～6 組	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	生涯を通じた健康づくりの知識を身につける。 自己の「健康」についての理解を深める。
使用教科書・副教材等	<ul style="list-style-type: none"> 現代保健体育 大修館書店 保対001 現代保健ノート 大修館書店

2 学習計画及び評価法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1.学習活動の特記事項 2.副教材の使用など	考查範囲	評価の観点のポイント			
						関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
第1学期	オリエンテーション 私たちの健康のすがた 健康のとらえ方 さまざまな保健活動や対策 生活習慣病と日常生活行動	4 ・ 5	オリエンテーションを通して、保健の授業の受け方や出席・成績について理解する。 わが国の健康水準を理解する。 健康とは何かを理解する。 ヘルスプロモーションという考え方と活動について理解する。 さまざまな生活習慣病について理解する。 自己の生活を振りかえらせ、将来の予防とする。	教科書P、8～15 教科書P、16・17	第1学期中間考查				
	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 医薬品と健康	6 ・ 7 ・ 8	タバコの害について理解し、将来の健康維持につながることを自覚する。 酒の害について理解し、将来の健康維持につながることを知る。 薬物乱用について理解し、その防止につなげる。 医薬品のいろんな作用について理解する。 自分の家庭にある医薬品にも注意が払えるようになる。	教科書P、18・19 教科書P、20・21 教科書P、22・23 教科書P、24・25	第1学期期末考查				
	感染症とその予防 エイズとその予防 健康にかかわる意志決定・行動選択	9 ・ 10	今日注意すべき感染症について理解する。 エイズに対する正しい知識を身につけ、差別や偏見をなくす。 心の健康について理解する。	教科書P、26・27 教科書P、28・29 教科書P30～35	第2学期中間考查				

	<p>欲求と適応機制</p> <p>心身相関とストレス ストレスへの対処</p> <p>自己実現</p>	<p>10 ・ 11 ・ 12</p>	<p>欲求不満と適応機制について理解し、日常生活の中でしている自分達の心の働きについて考える。</p> <p>心と身体のかかわりについて理解する。</p> <p>ストレスへの対処のしかたを理解する。</p> <p>自分にとっての自己実現を考える。</p>	<p>教科書P、36・37</p> <p>教科書P、38・39</p> <p>教科書P、40・41</p> <p>教科書P、44・45</p>	<p>第2学期 期末 考査</p>				
<p>第3学期</p>	<p>交通事故の現状と要因</p> <p>応急手当の意義とその基本</p> <p>心肺蘇生法</p>	<p>1 ・ 2 ・ 3</p>	<p>交通事故における現状について理解を深め、事故を起こしたときの責任と補償についても学ぶ。</p> <p>日常的な応急手当について知識を身につける。</p> <p>心臓マッサージと人工呼吸のやり方を身につける。</p>	<p>教科書P、46～53</p> <p>教科書P、54・55 P58・59</p> <p>教科書P、56・57</p>	<p>学年 末 考査</p>				
<p>【1・2・3学期における課題・提出物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健ノートを各学期2回は提出させる ・ テーマに応じた課題を与え、レポートさせる。 ・ 長期休業中に宿題を課し、評価に加える。 									
<p>【1・2・3学期における評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考査は期末考査のみで年3回とする。 ・ 各学期の評価は、考査と平常点（授業態度・ノート・課題・出席状況など）でつける。 									